

総合計画第2次基本計画の「目標とする指標」の進捗状況（平成27年度実績）

1 「目標とする指標」の定義及び進捗管理

総合計画第2次基本計画では、新世紀創造プロジェクトの取組みの体系に沿って、政策テーマごとに「目標とする指標」を設定し、それぞれ5年間で達成すべき目標値を設定している。個々の指標に掲げる目標値の達成状況の検証及び評価を通して、毎年度の計画の進捗管理を行っている。

このような評価的視点に立った進捗管理の継続により、各政策分野における施策の整合性の確保や効率性の向上につなげ、総合計画に掲げる都市の将来像の実現を図る。

2 「目標とする指標」の実績（各年度の目標値ベース）

		指標数	評 価 ※()内は H26 年度実績					備考
			A ⁺	A	B	C	D	
新世紀創造プロジェクト	1 交流・観光	14(14)	8(8)	0(2)	3(1)	2(2)	1(1)	
			58% (58)	0% (14)	21% (7)	14% (14)	7% (7)	
	2 歴史・文化	9(7)	4(3)	1(3)	3(0)	1(0)	0(1)	H26 年度は 隔年指標 2 件あり
			45% (43)	11% (43)	33% (0)	11% (0)	0% (14)	
	3 ものづくり	16(16)	11(12)	0(1)	1(1)	1(1)	3(1)	
			69% (76)	0% (6)	6% (6)	6% (6)	19% (6)	
	4 安全・安心	32(32)	17(14)	5(9)	3(4)	4(2)	3(3)	
			53% (44)	16% (28)	9% (13)	13% (6)	9% (9)	
	5 人づくり	11(11)	2(1)	3(3)	4(4)	1(2)	1(1)	
			19% (10)	27% (27)	36% (36)	9% (18)	9% (9)	
合 計		82(80)	42(38)	9(18)	14(10)	9(7)	8(7)	
			51% (48)	11% (22)	17% (12)	11% (9)	10% (9)	

※指標の達成度を5段階評価

A⁺ : 100%以上 A : 90%以上 B : 80%以上 C : 70%以上 D : 70%未満

3 総評及び分野別評価

第2次基本計画の4年目となる平成27年度の進捗状況として、「A+」評価が42項目（51%）、「A」評価が9項目（11%）、「B」評価が14項目（17%）となっており、平成27年度の目標を概ね達成したものと評価できる。

① 交流・観光

代表指標のうち「高岡駅及び新幹線新駅の乗降客数」が一日当たり23,638人、「中心商店街における平日・休日の歩行者・自転車通行量の平均値」が15,550人といずれも目標値を上回った。「高岡市の観光客入込数」は3,801,366人と目標値を未達成ながら、前年比110%の伸びを示しており、北陸新幹線の開業効果が現れている。

北陸新幹線開業の追い風をさらなる市民生活の向上、市の発展及び富山県西部地域の発展に生かすため、高岡駅、新高岡駅及び中心市街地を結ぶ都心軸、これを含むエリアに都市機能の集積を図る。高岡駅周辺地区では、駅前東地区がにぎわいの核として、人・モノ・情報の交流の拠点となるよう、富山県高岡看護専門学校が入る複合ビルの整備、自転車駐車場の整備を進める。北陸新幹線の利用を促進するため、新高岡駅周辺道路の整備、高岡駅北口駅前広場の整備などを進める。あわせて、臨時便かがやきの定期化に向け、魅力的な旅行商品の造成、首都圏等でのプロモーションの展開などに取り組む。

② 歴史・文化

代表指標のうち「伝統産業の販売額、地場産業従事者数」は目標値を下回ったものの、「歴史・文化施設入込者数」は1,175,372人、「市立公民館の利用者数」は537,299人といずれも目標値を上回っており、歴史・文化のまちづくりが進んだものと評価できる。

今後は、「日本遺産」を生かしたまちづくりを推進するため、「日本遺産」に関する情報の発信を強化するとともに、高岡市日本遺産推進協議会と連携し、人材の育成や普及・啓発などに取り組む。今秋には「高岡御車山祭の御車山行事」のユネスコ無形文遺産登録が期待されており、これを生かした施策を推進する。

「文化創造都市高岡」の推進に向け、今年のエンジン01に続き、著名人と市民が交流するエンジン02を開催する。また、大伴家持生誕1300年に向けたイベントとして、特別企画展や高校生万葉短歌バトルなどを実施し、万葉のふるさと高岡を全国に発信する。

③ ものづくり

代表指標のうち「製造品出荷額」は、4,057億円と目標値を下回ったものの、近年は出荷額が増加傾向にあり、リーマンショック以降の苦境を脱しつつある。「うるち米の1等比率」は91.0%と目標値を上回った。

今後は、事業段階に応じた支援など創業者のサポート体制の強化を図るとともに、新幹線開業などの企業の立地環境の変化をとらえ、「企業誘致強化期間」を延長し、

企業立地助成の拡充、工場等周辺環境整備及び中小企業への融資制度の充実などに取り組む。地場・伝統産業の分野では、技術の継承・発展、後継者の養成などに継続して取り組むとともに、「金屋鋳物師町工房（仮称）」の整備の検討を進める。

農業の分野では、TPP 協定の大筋合意など農業を取り巻く情勢の変化を踏まえ、国、県の施策と連動し、農林水産業の競争力強化に取り組む。また、生産・加工・販売及びサービスを一体的に行う六次産業化の推進、農業特産物の振興の支援及び地場野菜の生産振興などによる地産地消を促進する。

④ 安全・安心

代表指標のうち「健康寿命」が男性では 79.18 歳、女性では 83.21 歳、「通訳・ホームステイ等のボランティアの登録者数」は 138 人、「公共施設の耐震化率」は 88.1%といずれも目標値を上回った。「市民活動情報ポータルサイトの登録団体数」は 156 団体、「ごみの再生利用量」は 13,013 トン、「公共交通の利用者数」は 3,357,587 人と目標値を下回った。「ごみの再生利用量」は、目標値を大きく下回っており、分別の徹底により再生利用量の増加を図る。

今後の取組として、福祉の分野では、地域福祉ネットワーク「あっかり福祉ネット」の市内全 27 地区への拡大を目指す。市内 11 箇所の地域包括支援センターを中心に必要な介護支援を届ける「あっかりライフ支援システム」の取組みを進め、高岡型地域包括ケアシステムの確立を図る。高齢者福祉については、平成 29 年度から新たな「介護予防・日常生活支援総合事業」を提供するため、地域の実情に応じた生活支援・介護サービスの内容を検討する。

交通の分野では、並行在来線新駅設置や万葉線 IC カードの導入の検討に対する支援に加えて、新幹線利用の通勤・通学者に対する助成などを行う。

防災の分野では、道路冠水被害の大きい地区での側溝改修、土砂災害警戒区域での防災行政無線の整備、まちなかでの防災まちづくり計画の策定などを行う。

⑤ 人づくり

代表指標のうち「子育て支援施設（子育て支援センター）利用者数」が 31,312 人と目標値を下回ったものの、利用者は増加傾向にあり、さらなる利用の促進を図る。「ものづくりデザイン科の授業を通し、『地域やものづくりについての理解を深め、郷土について誇りをもつ心を育むことができた』児童・生徒、教員数の割合」は、児童・生徒が 91.8%、教員は 96.4%、「体育施設の利用者数」は 764,877 人といずれも目標値を上回った。

子育ての分野では、引き続き保育料の軽減を図るほか、母子・父子家庭の自立を促すため、就労に必要な資格取得費に対する助成を拡充する。加えて、不妊治療助成に男性治療も対象に加えるなど制度の拡充を図る。子どもの居場所づくりを進めるため、放課後児童クラブのクラブ室整備や、地域子育て広場事業などに取り組む。

教育の分野では、少人数教育などきめ細かな指導に努め、学力の向上を図る。また、心の教室相談員の配置や、教育センターでの適応指導教室の実施など、いじめ・

不登校防止対策を進める。特色ある教育活動を推進するため、「ものづくり・デザイン科」、「高岡再発見」プログラム、小中学生が郷土高岡を英語で発信する能力を身につけるための「I LOVE TAKAOKAプログラム事業」を継続する。

第2次基本計画「目標とする指標」の進捗状況一覧表

政策	No		指標名	指標設定の考え方	単位	基準数値 (年度等)	H23	H24	H25	H26		H27				H28	担当部局 (課・室)	分析と今後の対応
							実績	実績	実績	実績	評価	目標	実績	年次目標 達成率	評価	目標		
1. 交流・観光																		
(1) 交通 基盤の整備	1		高岡駅及び新幹線新駅の乗降客数	駅前広場や幹線道路、周辺施設の整備等により高岡の拠点性が高まることを、乗降客数により測る。	人/日	14,928 (H22)	14,938	15,012	15,036	14,460	A	18,000	23,638	131.3%	A+	18,000	都市創造部 ・交通政策課	概ね順調
		2	都市計画道路整備率	都市計画道路の整備により、高岡を結節点とする交通ネットワークが強化されることを、都市計画道路整備率により測る。	%	67.8% (H22)	68.8%	69.9%	76.2%	76.9%	A+	73.7%	77.1%	104.6%	A+	74.9%	都市創造部 ・都市計画課	概ね順調
		3	道路改良率	市道の整備により、高岡を結節点とする交通ネットワークが強化されることを、道路改良率により測る。	%	77.0% (H22)	77.4%	77.5%	77.9%	78.1%	A	78.4%	78.4%	100.0%	A+	78.7%	都市創造部 ・道路建設課	概ね順調
		4	船舶の寄港数（大型客船・RORO船）	港湾整備の要望やポートセールスの実施等により伏木富山港（伏木地区）が活性化することを、船舶の寄港数により測る。	隻	5 (H22)	6	11	8	9	A+	10	7	70.0%	C	11	産業振興部 ・みなと振興課	目標未達成 （ここ数年寄港する船が固定化されている。これまで伏木に寄港していない客船を扱う船会社や旅行会社へのポートセールスを強化し、船舶の寄港の増加を図る）
(2) 市街地のにぎわいづくり	5		中心商店街（6地点）における平日・休日の歩行者・自転車通行量の平均値		人	11,648 (H22)	12,913	14,146	12,308	17,702	A+	13,300	15,550	116.9%	A+	14,000	産業振興部 ・商業雇用課	概ね順調
		6	山町筋菅野家前、御旅屋セリオ前、高岡駅瑞龍寺口(西)における歩行者・自転車通行量	歩いて楽しいまちづくりへの取組みにより、新幹線新駅から中心市街地に至る一体的なにぎわいづくりがなされることを、中心市街地ストリート構想上の3地点の歩行者・自転車通行量により測る。	人	4,479 (H22)	4,885	4,328	6,390	7,233	A+	5,000	4,401	88.0%	B	5,500	都市創造部 ・都市計画課	目標未達成 （H27より大幅減。高岡駅瑞龍寺口において、新幹線開業に伴う特急利用者の減少が影響。今後も中心市街地全体ににぎわいをもたらす魅力づくりなど、まちなかの回遊性を高める取組を実施し、通行量の増加を図る）
		7	中心商店街（末広町、御旅屋、末広坂、高の宮）での空き店舗数	中心商店街での新規開業支援によるまちなかのにぎわい創出を、中心商店街での空き店舗数の減少により測る。	件	25 (H22)	18	21	27	26	D	15	22	68.2%	D	13	産業振興部 ・商業雇用課	目標未達成 （H27は開業支援制度拡充及び新幹線開業効果により、空き店舗数は減少。今後も支援制度の周知等により減少を図る。）
(3) 観光資源の活用と広域観光の推進	8		高岡市の観光客入込数		人	3,911,789 (H20)	3,649,021	3,580,218	3,629,729	3,470,538	B	4,411,000	3,801,366	86.2%	B	4,500,000	産業振興部 ・観光交流課	概ね順調
		9	着地型旅行商品の参加者数	着地型旅行商品を開発・販売することによる高岡の魅力の高まりを、着地型旅行商品への参加者数により測る。	人	(－)	(－)	165	720	2,067	A+	1,300	14,083	1083.3%	A+	1,600	産業振興部 ・観光交流課	概ね順調
		10	「新たな食の名物」の売上食数	「新たな食の名物」の開発・提供による観光客をもてなす体制づくりを、「新たな食の名物」の売上食数で測る。	食	(－)	(－)	20,000	35,300	24,000	A+	12,500	30,000	240.0%	A+	15,000	産業振興部 ・観光交流課	概ね順調
		11	観光ボランティアが案内した観光客数	観光ボランティアの充実による観光客をもてなす体制づくりを、観光ボランティアが案内した観光客数で測る。	人	14,976 (H22)	15,501	19,928	23,758	18,834	A+	16,300	32,573	199.8%	A+	16,500	産業振興部 ・観光交流課	概ね順調
		12	観光地において開業支援事業を活用し、開業した店舗数	観光地での土産物販売・飲食店の開業支援による観光地のにぎわい創出を、開業した店舗数で測る。	件	8 (H22)	9	11	13	14	C	23	19	82.6%	B	26	産業振興部 ・商業雇用課	概ね順調
		13	観光ホームページのアクセス数	ホームページによるきめ細やかな観光情報の発信により、高岡に興味を持たれる方が増えることを、観光ホームページのアクセス数で測る。	件	112,740 (H22)	75,746	66,387	529,007	662,696	A+	121,200	707,192	583.5%	A+	125,000	産業振興部 ・観光交流課	概ね順調
		14	コンベンションの開催補助件数	MICEの誘致・開催支援により、交流人口の拡大が図られることを、コンベンションの開催補助件数で測る。	件	17 (H20)	16	17	19	17	C	24	17	70.8%	C	25	産業振興部 ・観光交流課	目標未達成 （昨年度より補助申請は増加したが、要件を満たさず、取下げとなるものがあった。今後も修学旅行やコンベンションへの積極的なPRを図る。）

政策	No		指標名	指標設定の考え方	単位	基準数値 (年度等)	H23	H24	H25	H26		H27				H28	担当部局 (課・室)	分析と今後の対応	
							実績	実績	実績	実績	評価	目標	実績	年次目標 達成率	評価	目標			
2. 歴史・文化																			
(4) 歴史・文化資産の保存と活用	15		歴史・文化施設入込者数 (瑞龍寺、勝興寺、土蔵造りのまち資料館、鋳物資料館、伏木気象資料館、古城公園、御車山会館)		人	1,042,658 (H22)	1,065,000	1,081,787	970,441	1,004,769	A	1,097,220	1,175,372	107.1%	A+	1,120,000	教育委員会 ・文化財課	概ね順調	
(5) 伝統技術の保存・継承	16		伝統産業の販売額、地場産業従事者数 (高岡特産産業のうごき・隔年調査)		億円	137.7 (H21)	—	—	129.5	—	—	138	128.7	93.3%	A	138	産業振興部 ・産業企画課	概ね順調	
					人	1,767 (H21)	—	—	1,538	—		1,750	1,473	84.2%		1,750			
	17		伝統工芸産業技術者養成スクールの修了率 (1期2年のため、隔年のデータ)	伝統工芸の知識・技術の修得者が増加し、さらに高度な技術・技法を継承させることで、優れた後継者が育成されていることを測る。	%	72% (H17、H19、H21の平均)	72%	—	71.8%	—	—	75%	80.6%	107.5%	A+	75%	産業振興部 ・デザイン・工芸センター	概ね順調	
	18		伝統産業の技術・技法の継承者が市内企業等に定着する人数		人	17 (H22)	18	19	20	21		A	25	22	88.0%	B	27	産業振興部 ・デザイン・工芸センター	概ね順調
	19		文化財等の修理受注額		千円	14,696 (H22)	27,251	49,258	42,294	108,497		A+	43,000	109,983	255.8%	A+	50,000	産業振興部 ・産業企画課 教育委員会 ・文化財課	概ね順調
(6) 生涯学習体制の充実と新たな文化の創造	20		市立公民館の利用者数		人	511,839 (H22)	513,429	513,087	522,410	524,265	A+	520,000	537,299	103.3%	A+	527,000	教育委員会 ・生涯学習課	概ね順調	
		21		万葉歴史館の来館者数	施設内容の見直しにより、観光客を始めとする来館者の増加を図る。	人	27,338 (H22)		29,342	24,897	21,468	D	33,000	24,290	73.6%	C	35,000	教育委員会 ・生涯学習課	目標値・基準値ともに下回った。 (H27は特別展示室のオープンにより、貴重な展示品が公開可能となったことにより、前年度より来館者数は増加。今後はH29年の大伴家持生誕1300年記念に向けた特別企画展等を開催し、来館者の増加を図る)
		22		生涯学習センター自主講座の受講者数	講座の受講者数により、市民の生涯学習意欲を測る。	人	470 (H22)		450	498	526	A+	570	494	86.7%	B	600	教育委員会 ・生涯学習課	概ね順調
		23		市民1人当たりの図書貸出冊数	図書貸出冊数により、市民の学習意欲の向上度合いを測る。	冊	4.96 (H22)		4.84	4.71	4.60	A	5.16	4.53	87.8%	B	5.21	教育委員会 ・中央図書館	概ね順調

政策	No		指標名	指標設定の考え方	単位	基準数値 (年度等)	H23	H24	H25	H26		H27			H28	担当部局 (課・室)	分析と今後の対応
							実績	実績	実績	実績	評価	目標	実績	年次目標 達成率	評価		
3. ものづくり																	
(7) 新たな産業創造の推進	24	製造品出荷額		億円	3,949 (H21)	3,949	3,879	3,776	3,905	B	5,030	4,057	80.7%	B	5,300	産業振興部 ・産業企画課	概ね順調
	25	企業訪問等による企業支援件数	地域企業の新分野進出や新事業展開が促進されたかを、企業ニーズの解決数により測る。	件	50 (H22)	50	417	448	418	A+	50	443	886.0%	A+	50	産業振興部 ・産業企画課	概ね順調
	26	高岡市の新分野開拓チャレンジ補助事業の採択企業数	新技術・新製品の創出や農商工連携など、新事業展開が促進されたかを、補助事業の採択企業数により測る。	件	11 (H22)	17	16	17	24	A+	16	21	131.3%	A+	16	産業振興部 ・産業企画課	概ね順調
	27	インキュベート施設卒業者の市内事業所開設件数	起業家が創業段階から次の事業展開へステップアップし、新事業が創出されたかを測る。	件	4 (H14～H21の累計)	2	0	2	1	A+	1	0	0.0%	D	5 (H24～H28の累計)	産業振興部 ・産業企画課	目標未達成 (入居者の卒業のタイミングに合わせ引き続き支援をしていく)
	28	各種展示会の来場者数	展示会を通じて、新たな商品開発や販路開拓につながる機会が提供できたかを測る。	人	9,909 (H22)	9,060	8,488	8,007	8,181	C	10,800	8,035	74.4%	C	11,000	産業振興部 ・産業企画課	目標値・基準値ともに下回った。 (今後も各種イベントとの連携や来場するための仕掛けづくりを強化。引き続き、伝統産業のブランド化などを推進し、新製品開発や販路開拓につなげる。)
	29	デザインセミナーの参加人数	セミナーを通じて最新の情報が浸透することで、新分野・新市場への展開につながる機会が提供できたかを測る。	人	184 (H18～H22の累計)	67	54	68	57	A+	40	49	122.5%	A+	200 (H24～H28の累計)	産業振興部 ・デザイン・工芸センター	概ね順調
	30	既存企業団地の未分譲面積（大滝工業団地、四日市工業団地、高岡ワイルパーク）	市内における企業の新增設の動向を把握し、企業立地が促進されたかを測る。	ha	10.1 (H22)		8.4	7.8	5.9	D	0	4.5	44.6%	D	完売	産業振興部 ・産業企画課	目標未達成 (H25年度から開始した「企業誘致強化期間」を2年間延長し、市外からの新たな企業誘致のほか、市内企業の移転・拡張等も合わせた企業立地を促進する。)
	31	企業団地の新規開発面積	市内企業の事業拡張や企業誘致へ対応するための産業基盤の整備状況を、企業団地の開発面積により測る。	ha	(一)	0	0	0	0	A+	10	0	0.0%	D	10	産業振興部 ・産業企画課	目標未達成 (既存の企業団地の分譲状況をみながら、新たな企業団地の整備に向けて、適地調査及び開発手法の検討等を進める。)
(8) 農業の振興	32	企業立地助成金の交付件数	市内への工場等立地と、立地に伴う雇用が創出されたかを測る。	件	各年度 7 (H12～H21の平均)	23	14	16	14	A+	7	20	285.7%	A+	7	産業振興部 ・産業企画課	概ね順調
	33	うるち米の1等比率		%	77.6% (H18～H22の平均)	75.7%	85.0%	84.3%	83.2%	A	90.0%	91.0%	101.1%	A+	90.0%	産業振興部 ・農業水産課	概ね順調
	34	大麦の1等比率	よりよい品質の農作物をつくることで市場評価が向上し、農家の収入増加につながることから、農業の振興が図られたかを、大麦、大豆の品質向上により測る。	%	81.9% (H18～H22の平均)	76.9%	84.0%	90.6%	91.0%	A+	90.0%	96.9%	107.7%	A+	90.0%	産業振興部 ・農業水産課	概ね順調
	35	大豆の上位等級（3等以上）比率		%	12.6% (H18～H22の平均)	5.1%	7.2%	8.7%	33.2%	A+	30.0%	36.5%	121.7%	A+	30.0%	産業振興部 ・農業水産課	概ね順調
	36	農産物直売所、インショップ、野菜出荷組合の販売額	消費者への供給量や学校給食での使用品目が増加することで、高品質で安定した園芸作物の生産が推進されていること、また地産地消が推進されていることを測る。	百万円	507 (H22)	542	552	573	607	A+	588	650	110.5%	A+	608	産業振興部 ・農業水産課	概ね順調
	37	学校給食に使用する地場産食材の品目数		品目	19 (H22)	20	23	22	23	A+	21	24	114.3%	A+	22	産業振興部 ・農業水産課	概ね順調
	38	効率的かつ安定的な経営を行う担い手による農地利用集積率※2	地域農業における担い手の状況を把握し、効率的かつ安定的な農業経営が促進されていることを測る。	%	51.9% (H22)	53.9%	54.9%	55.7%	57.1%	A+	55.5%	61.0%	109.9%	A+	56.4%	産業振興部 ・農業水産課	概ね順調
39	認定農業者数	経営体		101 (H22)	103	106	107	119	A+	105	125	119.0%	A+	106	産業振興部 ・農業水産課	概ね順調	

政策	No		指標名	指標設定の考え方	単位	基準数値 (年度等)	H23	H24	H25	H26		H27				H28	担当部局 (課・室)	分析と今後の対応
							実績	実績	実績	実績	評価	目標	実績	年次目標 達成率	評価	目標		
4. 安全・安心																		
(9) 地域 福祉ネット ワーク の構築	40		健康寿命		歳	男性 77.35 (H21)	77.43	77.51	77.47	77.69	A+	男性77.87	79.18	101.7%	A+	男性78.00	福祉保健部 ・健康増進課 ・高齢介護課	概ね順調
					歳	女性 81.76 (H21)	81.85	81.72	82.00	82.31		女性81.92	83.21	101.6%		女性82.00		
	41		高岡型地域福祉ネットワークづくりの実施地区数 (見守り支援グループの設置地区数含む)	市民・地域団体・NPO法人・ボランティア・事業者等が連携し、高岡型地域福祉ネットワークづくりを進め、地域における「新たな支え合い体制」の確立を実施地区数により測る。	地区	－	(－)	3	9	15	D	27	21	77.8%	C	27	福祉保健部 ・社会福祉課	目標未達成 (H28は新たに6地区が指定。27地区全ての立ち上げとなり、最終目標値を達成する)
	42		子育て支援センターの登録者割合	子育て支援施設において、子育て支援の情報を得やすい環境の充実を登録者割合により測る。	%	67% (H22)	83.0%	61%	64%	59%	C	94%	51.4%	54.7%	D	100%	福祉保健部 ・子ども・子育て課	目標値・基準値ともに下回った。 (妊産婦対象の育児教室の回数の増加や生後3か月から5か月の親子を対象とした育児教室の開催のほか、産婦人科での支援センターや出産前の育児教室のPRなど利用者増を図る。)
	43		子育て、障害者、高齢者等の相談件数（子育て支援センター、障害者相談支援センター、地域包括支援センター）	多様な相談に応じる体制づくりの充実を相談数により測る。	件	24,935 (H22)	31,201	29,982	32,904	36,815	A+	29,400	37,780	128.5%	A+	30,000	福祉保健部 ・社会福祉課 ・子ども・子育て課 ・高齢介護課	概ね順調
	44		発達支援巡回相談数	乳幼児・児童の発達障害の早期発見及び早期療育指導の推進状況を巡回相談数により測る。	回/年	77 (H22)		309	319	320	A+	150	195	130.0%	A+	160	福祉保健部 ・子ども・子育て課 (きずな子ども発達支援センター)	概ね順調
	45		徘徊認知症高齢者の捜査協力団体の実施箇所等の数	認知症高齢者の徘徊行動等に対する地域の協力・支援体制づくりを捜査協力団体の実施箇所等の数により測る。	箇所	80 (H22)	221	223	225	298	B	420	308	73.3%	C	500	福祉保健部 ・高齢介護課	目標未達成 (電話やFAX対応希望の事業者も多く、大幅な増加は厳しい状況。今後も地域包括支援センターを中心に事業の周知を図り、協力団体の増加を目指す)
	46		介護予防事業の参加者数	高齢者の自立と生活機能の向上のため、介護予防が図られたかを参加者数により測る。	人	延べ 49,843 (H22)	57,995	57,240	61,481	61,590	A+	58,000	63,413	109.3%	A+	60,000	福祉保健部 ・高齢介護課	概ね順調
	47		健康づくり活動への参加者数	健康に係る生活習慣を見直しや健康づくりに取り組む機会の充実を参加者数により測る。	人	延べ 66,450 (H22)	71,308	76,319	86,229	90,716	A+	95,000	97,243	102.4%	A+	100,000	福祉保健部 ・健康増進課	概ね順調
	48		大腸がん検診の受診者数	がん検診の受診者数の動向を、がん検診の中で受診率が低く、本市の特性で死亡比が高い大腸がん検診により測る。	人	<u>9,623</u> (H22)	9,741	10,923	11,477	11,980	A	13,025	12,077	92.7%	A	13,500	福祉保健部 ・健康増進課	概ね順調
(10) 市民 協働プラットフォーム	50		市民活動情報ポータルサイトの登録団体数		団体	43 (H22)	148	151	152	154	A	171	156	91.2%	A	180	市民生活部 ・共創まちづくり課	概ね順調
					件	(－)	22,213	19,160	22,324	22,658	A+	23,800	25,302	106.3%	A+	25,000	市民生活部 ・共創まちづくり課	概ね順調
					人	131,040 (H22)	140,331	137,120	168,604	141,948	A	155,000	201,221	129.8%	A+	160,000人	市民生活部 ・共創まちづくり課	概ね順調
					件	(－)	(－)	10	16	18	A+	13	21	161.5%	A+	15	市民生活部 ・共創まちづくり課	概ね順調

政策	No		指標名	指標設定の考え方	単位	基準数値 (年度等)	H23	H24	H25	H26	H27				H28	担当部局 (課・室)	分析と今後の対応	
							実績	実績	実績	実績	評価	目標	実績	年次目標 達成率	評価			目標
(11) 多文化共生社会の推進	54		通訳・ホームステイ等のボランティアの登録者数		人	90 (H22)	102	104	98	129	A+	98	138	140.8%	A+	100	市民生活部 ・共創まちづくり課 (多文化共生室)	概ね順調
	55		国際交流フェスタの参加者数	国際交流に対する関心度を国際交流フェスタの参加者数により測る。	人	1,230 (H22)	1,100	1,050	1,000	1,100	B	1,375	1,200	87.3%	B	1,400	市民生活部 ・共創まちづくり課 (多文化共生室)	概ね順調
	56		外国人のための生活相談コーナー（市役所1階）の利用者数	在住外国人の生活上の課題を気軽に相談できる体制づくりを生活相談コーナーの利用者数により測る。	人	1,809 (H22)	1,642	2,012	2,701	2,626	A+	2,200	2,699	122.7%	A+	2,300	市民生活部 ・共創まちづくり課 (多文化共生室)	概ね順調
	57		外国語版ホームページへのアクセス数	外国人が、各種イベントや健康診断などの情報を得やすい環境が整備されたかを外国語版ホームページへのアクセス数により測る。	回	16,686 (H22)	11,951	13,225	3,469	2,554	D	19,500	5,707	29.3%	D	20,000	市民生活部 ・共創まちづくり課 (多文化共生室)	目標値・基準値ともに下回った。 (H27に導入ページのや実施事業についての紹介ページを新たに改良したことにより、前年度よりアクセス数は増加。今後も掲載内容の更新や、情報の提供などを行い、利用者が定期的に閲覧したくなる仕組みづくりを検討していく)
(12) 環境共生社会の推進	58		ごみの再生利用量		t	11,380 (H22)	17,585	18,472	17,820	12,356	C	16,430	13,013	79.2%	C	16,580	市民生活部 ・環境サービス課	目標未達成 (分別を徹底し、再生利用量増加に向けて進めていく)
	59		住宅用太陽光発電の能力の合計（累計）	自然エネルギーが地域で利用され、環境負荷の低減が進んでいるかを住宅用太陽光発電の能力の合計により測る。	kw	1,462 (H22)	2,320	2,993	3,781	4,516	A+	4,400	5,138	116.8%	A+	5,000	市民生活部 ・地域安全課	概ね順調
	60		美化協定団体数	市内全域において美化活動が展開されているかを美化協定団体数により測る。	団体	41 (H22)	42	42	44	45	A	53	46	86.8%	B	55	市民生活部 ・環境サービスク	概ね順調
	61		ごみの排出量	ごみの発生抑制が図られているかをごみの排出量により測る。	t	63,869 (H22)	70,015	71,766	70,633	67,090	A	63,400	62,082	102.1%	A+	63,300	市民生活部 ・環境サービスク	概ね順調
	62		埋立ごみ量	ごみの減量化及び分別の適正化を埋立ごみ量により測る。	t	8,481 (H22)	8,707	8,184	8,593	7,612	A+	8,055	7,656	105.2%	A+	7,980	市民生活部 ・環境サービスク	概ね順調
(13) 生活環境の整備と地域公共交通の確保	63		公共交通の利用者数（万業線、路線バス、コミュニティバス、市営バス）		人	3,757,919 (H22)	3,781,000	3,737,000	3,641,000	3,559,294	A	3,758,000	3,357,587	89.3%	B	4,000,000	都市創造部 ・交通政策課	概ね順調
	64		土地区画整理事業の完了施工面積（戸出中之宮、中曽根、木津、福岡駅前）	土地区画整理事業の進捗状況を土地区画整理事業の完了施工面積により測る。	ha	49.3 (H22)	55.37	60.5	62.4	65.0	A	70.4	67.6	96.0%	A	70.9	都市創造部 ・都市計画課 福岡総合行政センター ・福岡まちづくり推進室	概ね順調
	65		まちなか住宅取得支援事業等の補助申請に伴う定住人数	まちなかの人口減少の抑制効果を補助申請に伴う定住人数により測る。	人	25 (H22)	17	157	47	52	A	57	82	143.9%	A+	60	都市創造部 ・建築住宅課	概ね順調
(14) 災害に強いまちづくりの推進	66		公共施設の耐震化率		%	56% (H22)	62.4%	67.8%	77.0%	85.1%	A+	88%	88.1%	100.1%	A+	95%	都市創造部 ・建築指導課	概ね順調
	67		避難想定人口に対する備蓄物資の充足率	災害時に必要な備蓄物資の整備状況を備蓄物資の充足率により測る。	%	14.6% (H22)	17.1%	56.8%	69.6%	78.5%	A+	82.9%	89.8%	108.3%	A+	100.0%	総務部 ・総務課 (危機管理室)	概ね順調
	68		わがまち訓練の実施地区数（累積）	防災訓練を通して、災害対応力の向上及び防災意識の高揚をわがまち訓練の実施地区数により測る。	地区	6地区 (H22)	9	14	18	22	B	31	28	90.3%	A	36	総務部 ・総務課 (危機管理室)	概ね順調
	69		校下(地区)連絡協議会設置数	防災意識や災害時の校下での防災力の向上を協議会設置数により測る。	6地区 (H22)	6地区 (H22)	9	14	15	17	D	31	18	58.1%	D	36	総務部 ・総務課 (危機管理室)	目標未達成 (周知不足等があり、設置が遅れている。今後は総合防災訓練などの機会をとらえ、積極的に周知をすることにより設置数の増加を目指す)
	70		自主防災組織の組織率	防災意識や災害時の自治会等での防災力の向上を自主防災組織の組織率により測る。	%	65.3% (H22)	70.9%	74.9%	74.9%	74.7%	A	82.5%	75.7%	91.8%	A	85.0%	総務部 ・総務課 (危機管理室)	概ね順調
	71		デジタル化に対応した防災行政無線子局設置数（累積）	災害に強いまちづくりの推進状況を防災行政無線子局の設置状況により測る。	局	(一)局	5	30	65	81	B	118	87	73.7%	C	167	総務部 ・総務課 (危機管理室)	目標未達成 (H27は二上中継局移設工事優先のため、新子局の整備に遅れが生じた。H27以降は土砂災害危険区域を含む地域を優先的に整備していく)

政策	No		指標名	指標設定の考え方	単位	基準数値 (年度等)	H23	H24	H25	H26	H27				H28	担当部局 (課・室)	分析と今後の対応	
							実績	実績	実績	実績	評価	目標	実績	年次目標 達成率	評価			目標
5. 人づくり																		
(15)子育て支援の推進や保育サービスの充実	72		子育て支援施設（子育て支援センター）利用者数		組	23,638組 (H22)	29,867	29,314	31,366	30,540	B	37,600	31,312	83.3%	B	39,500	福祉保健部 ・子ども・子育て課	概ね順調
	73		放課後子ども教室の参加者数	放課後子ども教室の参加者数により、地域住民の子どもたちの健全育成に向けた取り組み動向を測る。	人	24,906 (H22)	24,750	19,938	24,481	24,640	A	25,000	24,705	98.8%	A	27,500	教育委員会 ・生涯学習課	概ね順調
	74		特別保育（病児病後児保育）を実施する保育園の割合〔私立保育園〕	特別保育(病児病後児保育)を実施する保育園の割合により、保育サービスの充実度合いを測る。	%	28% (H22)	50%	50	50	58	B	82	70	85.4%	B	100%	福祉保健部 ・子ども・子育て課	概ね順調
	75		平日の19時まで開設が可能な体制を整えることができる放課後児童育成クラブの数	平日19時まで開設している放課後児童育成クラブの数により、利用者ニーズに対する対応状況を測る。	クラブ	3クラブ (H22)	5	7	8	8	D	25	8	32.0%	D	27	福祉保健部 ・子ども・子育て課	目標未達成 (各クラブへのヒアリングを通じ、開所時間の延長可能な体制づくりを目指すとともに、指導員不足解消のための周知や求人を行う。)
(16)郷土意識の醸成と教育環境の充実	76		ものづくりデザイン科の授業を通し、「地域やものづくりについての理解を深め、郷土に誇りをもつ心を育むことができた」児童・生徒、教員数の割合		%	(児童・生徒) 70% (H22)	88%	91.2%	91.3%	91.8%	A+	78%	91.8%	117.7%	A+	80%	教育委員会 ・学校教育課	概ね順調
					%	(教員) 70% (H22)	87%	90.5%	94.8%	92.5%		78%	96.4%	123.6%		80%		
	77		「ものづくりデザイン科の授業や作品について、児童・生徒と会話した」保護者数の割合	保護者に対するものづくりデザイン科に関するアンケートにより、児童・生徒の郷土意識の醸成度合い、愛着度を測る。	%	80% (H22)	71%	71%	73%	67%	C	88%	66%	75.1%	C	90%	教育委員会 ・学校教育課	目標値・基準値ともに下回った。 (展示会の内容充実やホームページを通じた展覧会等の情報発信により保護者と児童・生徒の関心度の向上を図る。)
	78		地域の歴史的建造物を見学したり、祭りなどの地域行事に参加したりした児童・生徒数の割合	地域の歴史的建造物を見学したり、祭りなどの地域行事に参加したりした児童・生徒数の割合により、郷土意識の醸成度合い、愛着度を測る。	%	70% (H22)	63%	64%	69%	61%	B	78%	63%	80.8%	B	80%	教育委員会 ・学校教育課	概ね順調
	79		郷土学習の副読本を活用し、児童・生徒が「地域への理解を深め、郷土に誇りをもつ心を育むことができる」ような学習を実施できた教員数の割合	教員に対する郷土学習の副読本の活用に関するアンケートにより、児童・生徒の郷土に対する郷土意識の醸成度合い、愛着度を測る。	%	70% (H22)	69%	71%	72%	72%	A	78%	72%	91.9%	A	80%	教育委員会 ・学校教育課	概ね順調
(17)スポーツ活動の支援	80		体育施設の利用者数		人	708,011 (H22)	713,367	750,501	709,136	724,724	A	740,000	764,877	103.4%	A+	750,000	教育委員会 ・体育保健課	概ね順調
	81		スポーツ教室の参加者数	スポーツ教室の参加者数で、市民の生涯スポーツに対する関心度を測る。	人	49,610 (H22)	48,553	50,483	48,050	40,560	C	51,500	47,373	92.0%	A	52,000	教育委員会 ・体育保健課	概ね順調
	82		全国大会派遣激励金交付者数	全国大会に出場する人数で、競技力の向上度合いを測る。	人	982 (H22)	865	983	849	904	B	1,100	912	82.9%	B	1,100	教育委員会 ・体育保健課	概ね順調